山都町立潤徳小学校　学校だより

潤徳小伝説～永遠に～

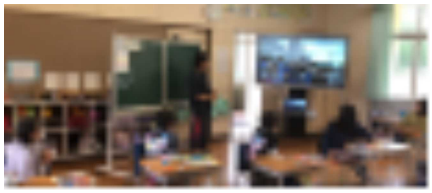
潤徳小HP　令和５年５月２２日（月）　第１１号
QRｺｰﾄﾞ←カラーで見られます！　校　長　池部　聖吾智（みわとも）

集会参加を通して子どもたちの大きな成長を感じました

先週２０日（土）、４年ぶりに5.23山都町地区集会が開催されました。町内各校の多くが「発表見送り」表明を出す中、本校は６年生自ら「ステージ発表したい」と名乗り出ました。

本番では、本校の日常の取組や人権学習で学んだこと、閉校への思い等について発表しました。原稿は、子どもたちが作成したものをベースに作成しました。前日放課後に矢部中でリハーサルがありましたが、学校に戻ってきても帰りのバスが来るまでの時間に玄関で練習する姿や本番直前にも原稿を確認する姿が見られました。そんな素敵な子たちです。本番で説得力のある力強い発表をしてくれたことは言うまでもありません。

東西潤徳小学校コラボレーションの持つ可能性



今年度になって２本のコラボを実施しました。１回目は、（日野）５年社会「日本の気候」の学習に本校６年生がＧＴとして「山都町の気候」を説明しました。２回目は、そのお返しの意味も込めて（日野）６年生社会科見学（国会議事堂等）を中継してもらいました。さらに（日野）は「東西潤徳小コラボ」が特色ある教育として「令和５年度日野市教育委員会特色ある学校づくり支援事業対象校」に指定されたそうで、今後の交流に大きな追い風となりました。本校児童は、日ごろ限られた少人数の中だけで生活していますので（日野）潤徳小という県外で大きな学校とのコラボを通じて、どんな場所でも物怖じせず意見交換ができる力をつけさせたいと考えます。コラボの持つ可能性は大きいものがあります。

潤徳抄Ⅱ

最近借りた秋田道夫著「機嫌のデザイン」ダイヤモンド社という本に「自分から進んでした物事の失敗からは学ぶことができます」とあった▼秋田氏は言う。「失敗すると話題にできる。みなさんを和ませるネタになる」「物事損をしないと得にいたらない」私は「そうか、これか！」と思った▼車検の時期が近づいているので２０日に車検費用の見積もりに行った。想定外の高価格だ。「セカンドオピニオン」で知り合いのカーショップに行ったが妥当な額という。つまり車全体でかなり弱っているという事である▼２年前、大雨で車が浸水したため保険金を活用し、ずっと欲しかった〇〇〇〇が安く出ていたので即購入した。もともと１０年前の車種だ。外見では気づかないが、内部は想像以上にくたびれていたのだ。▼安く購入できたカラクリが解けた。車検の期限まであと２週間。買い替えも視野に入れて結論を出さねば！